

川内村の取組と推進にあたっての課題

【取組】

※米価下落の傾向から、新たな作物への転換として、ワインブドウ・ハウ
スブドウ・リンドウ・エゴマ栽培に着手

※震災後激減した畜産の復興を図るため再開農家への支援

※集落ぐるみで営農に取り組み、水稻作付け再開を図るため乾燥調製施
設及び米備蓄倉庫の整備

【課題】

※農家の高齢化、担い手不足

※新たな農業へ取り組むため、施設整備に係る経費を再生加速化交付金
事業で検討するも、申請における窓口が帰還事業と効果促進事業で違
うため、申請事務が煩雑化となっている。このため、窓口の一本化（ワ
ンストップ化）をお願いしたい。

※再生加速化交付金の審査にあたっては、村や地域の農業の実情を理解
いただき、それを踏まえての審査をお願いしたい。

※また、計画づくりや補助金申請事務は、村の体制では重い負担。村の現
場を理解し、村の立場に立って申請事務を支援してもらえる方の人的
支援等をお願いしたい。

（イノベーションコースト構想を進めるにあたってのイニシャルコス
トも再生加速化交付金を活用していくことが不可欠だと考えるが、上

記のようなことから遅延することが予想される。)

※イノベーションコースト構想の推進にあたっては、ロボット化、大規模化などの理想像を示すだけではなく、村の既存農業者にも取り組み、地域の農業復興に寄与するような、現実的な形を示して進めていただけるようお願いしたい。